

# JAERA NEWS LETTER

一般社団法人日本自動車リサイクル機構 ニュースレター

- 巻頭言… P1 □電子車検証 読み取り方法レポート(前編:スマホで読み取る場合)… P1,P2,P3
- エアバッグ袋リサイクル事業 2月8日「アニエスパー」でエコバッグ販売開始/次世代モビリティリサイクラー制度 第2回目の申請を受け付けております! … P4
- 第4回ブロック長会議の開催結果/各ブロック会議の開催結果 … P5
- 2023年度 駆動用HVバッテリー共同出荷事業1月出荷状況と今期累計/1月新車販売・使用済自動車発生台数 … P6
- 鉄スクラップ最新情報 … P7 □行事予定・お知らせ/編集後記 … P8

vol.168

## 電子車検証 読み取り方法レポート (前編:スマホで読み取る場合)

# 01

2023年1月から電子車検証制度が始まりましたが、当惑されている機構会員さんも少なくないかと思います。先日、筆者の社用車の車検を通しました。実際にスマホ・PCアプリでスキャンを行いましたので、その電子車検証の読み取り内容をレポートいたします。(次号ではPC等でのスキャンレポートを掲載予定です)

■今年から車検を通すと以下の2つの書類を受け取ります。

### (1)自動車検査証記録事項

電子車検証へ完全に移行するまでの経過措置として、向こう3年間は発行される予定です。

今までの車検証とほぼ同じ情報が記載されており、紙質は今までの車検証よりも薄い印象です。ちなみに裏面には何も記載されていません。

### (2)自動車検査証

こちらがいわゆる電子車検証の表・裏です。

#### 【電子車検証：表面】



#### 【電子車検証：裏面】



#### 【自動車検査証記録事項】

## 巻頭言

自動車も国内外の自動車メーカーからEV車が次々と発表され、また、今号でも紹介されているように、車検証も電子車検証へと変わり「自動車業界100年に一度の大改革」がより身近に感じられてきました。我がリサイクル業界にも大きな変革の波が近づいて来ています。

これまでの鉄・非鉄に加え、今後はプラスチックやガラスといった素材のリサイクルが避けられないようです。現在、関連団体と共に様々な議論を重ねていますが、現状としては未確定な部分が多く、記事に出来ないのがもどかしいところです。

何はともあれ機構会員の皆さんには、事業に役立てて貰えるよう、いち早く最新情報をお届けしたいと考えております。

〈広報部会 永田 則男〉

《編集・発行責任者》  
一般社団法人日本自動車リサイクル機構  
広報部会長 田村 幸男

《お問い合わせ先》  
一般社団法人日本自動車リサイクル機構  
〒105-0004  
東京都港区新橋3丁目2番2号  
TEL: 03-3519-5181  
FAX: 03-3597-5171  
MAIL: jaera-homepage@elv.or.jp  
HP: http://www.elv.or.jp/

# 電子車検証 読み取り方法レポート (前編：スマホで読み取る場合)

# 01

## (3) スマホでのスキャン方法

①お手持ちのスマートフォンでまずは「車検証閲覧アプリ」をダウンロードしてみましょう。



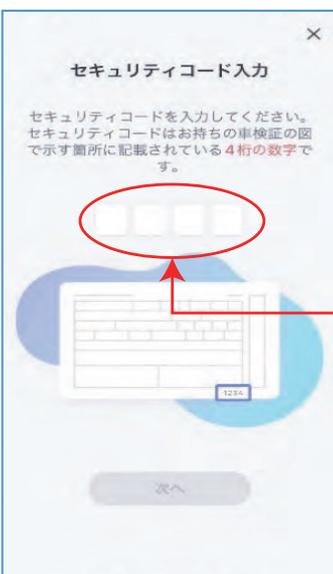
②上記の写真右側のQRコードを読み取ると下図のような画面に切り替わりますので、「入手」ボタンをクリックします。※画像はiPhoneでの操作画面です。



③その後、色んな画面が出てきますので「次へ」をタップ。



内容を確認して、「閉じる」をタップ。

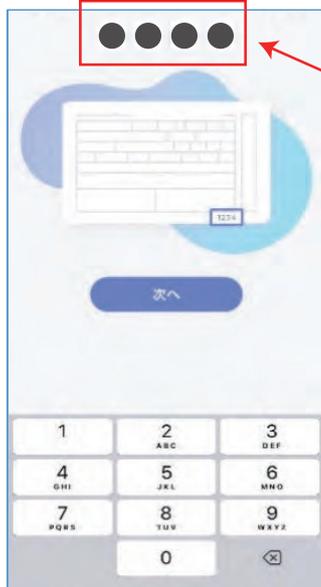


④「□□□□」の位置をタップします。

ついに始まります(^\_-)-☆

▶ ⑤に続く

⑤電子車検証の表面右下の4桁の数字を入力し、ICタグを読み取ります。



【情報閲覧画面】



この数字を入力



【ICタグ読み取り】



【読み取り完了】



このように表示されます

※読み込み時の注意：スマホの場合

機種によって違いがあるかもしれませんが、読み取り時のスマホの位置によって読み込み出来ないことがありました。

今回表示された主な内容

- ・有効期間の満了する日
  - ・所有者の氏名・住所
  - ・使用者の住所
  - ・使用の本拠の位置
- など「自動車検査証記録事項」に記載に内容は全て表示されました。

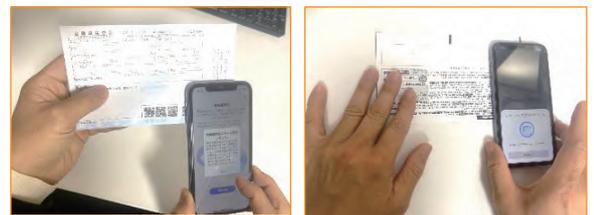
【読み取り成功例】



■ICタグの位置で固定

■ICタグを手にもって下から上へずらしていく  
(机の上で行うと読み取り出来ませんでした)  
筆者だけかもしれませんが…

【読み取り失敗例】



■ICタグから距離が離れ

■裏面からの読み取り  
ている

(4)最後に

以前のニューズレターVol.164でもお伝えした通り、私たち解体事業者からすると電子車検証の取り扱いにあっては、以下のような問題点があると考えています。

①FAXでのやり取りが出来ない②ICチップが壊れる可能性がある③車検の有効期間等の確認に読み取りの手間が増える

確かに向こう3年間は紙媒体の「自動車検査証記録事項」が付属してきますので、今すぐにこれらの問題への対応は不要です。しかし、3年後には上記の問題が確実に発生してきますので、自動車解体業界として電子車検証のメリットや問題点を意見交換や整理を行い、電子車検証が自動車に関係する皆様にとってより良いものとなるよう声を上げていくことが大切であると考えます。

# エアバッグ袋リサイクル事業

## 2月8日「アニエス ベー」でエコバッグ販売開始

# 02

2021年より日本自動車リサイクル機構の中部・北陸ブロックと日本自動車リサイクル事業協同組合・東海支部の協力のもと、多くの使用済みエアバッグ袋が回収され、様々な工程を経て、この度2023年2月8日より服飾メーカーのブランド「アニエスベー」より3タイプのエコバッグの販売がスタートしました。エコバッグはトートバッグ、リュックサック、サコッシュの3種類、店舗にて限定販売とのことです。これらの日本で生産されたエコバッグは、海外でもアップサイクル商品として販売される予定です。

アニエスベーのセールスポイントは、自動車が廃車になる際に発生する未使用のエアバッグ袋を回収・染色した生地とシートベルトを使用しているところです。車によって使用しているエアバッグの袋やシートベルトの素材感が異なり、また、色ムラやシワ、マークが付いていたり、縫製が残っていたりと世界で一つだけの「オンリーワン」のバッグであることも大きな魅力で、リユースを楽しんで取り入れる、そんなキッカケとなるバッグです。今回のモデルから新しいロゴにリニューアルされ、更にアニエスベーこだわりのデザインでリサイクルを意味する「recup」というロゴで表現されています。



### 回収されたエアバッグが商品になるまで

私たち自動車解体事業者から回収されたエアバッグ袋は就労支援施設・障害者雇用施設で資材解体(糸を手作業で解く)し、染色メーカーで生地を洗浄・染色、縫製会社で縫製をされ、商品として店頭並びます。



■現在のエアバッグの回収実績は7,500kg (5万枚) \*2022年12月実績

# 次世代モビリティリサイクルシステム

## 2回目の申請受付が開始されました！

# 03

現在、次世代モビリティリサイクルシステムにご参画いただく自動車解体事業者の第2回目の申請を受け付けております。(昨年に行った第1回目の申請受付では52事業所に申込みをいただきました。)申請方法につきましては前回同様となっておりますので、ぜひご検討下さい。

↓お申し込みはこちらをクリック↓

<https://www.elv.or.jp/index.php?itemid=1848>

第2回目受付期間：2023年2月10日(金)～3月31日(金)※必着

### 【次世代モビリティリサイクルシステムとは？】

自動車再資源化協力機構では、現在、次世代モビリティ(自動車リサイクル法対象外車両)が、将来使用済みとなった場合を想定した低コストで効率的な回収・リサイクルシステムのセーフティネットを「次世代モビリティリサイクルシステム」と称し、有価/無価を問わず回収・リサイクルが可能となるよう廃棄物処理法(廃掃法)の広域認定取得の準備を進めております。(2023年度取得・開始予定)

本システムで廃棄物運搬・分別、解体業務にご参加いただく自動車解体事業者をJAERAが窓口となって募集しております。なお、第2回目以降も定期的に申請受付を行う予定です。

## 第4回ブロック長会議の開催結果

# 04

2月14日(火)に第4回ブロック長会議がJAERA事務局会議室にて開催され、今回も対面とWEBを併用した会議で、全国のブロック長、常任役員一同が会する形となりました。

議題として、「次世代モビリティリサイクラー制度第2回目申請開始」、2月に会員の皆様に行った「JAMAハーネス黄色化アンケート」、現在検討が進んでいる「資源回収インセンティブ制度について」、「2023年度自動車リサイクル士講習会」について報告等があり、また、「電子車検証について情報交換」、「会員増強の取り組み」、「支部・ブロック活動費の活用」、「各ブロックの近況」について活発な意見交換が行われました。特に「資源回収インセンティブ制度」については、現在、関係機関で検討が進んでおりますが、詳細が定まっていないことから様々な憶測や情報が飛び交っていることが分かり、現在JAERAで把握している検討状況等を整理し、会員へ伝えていくことが必要ではないかという意見が挙がりました。



【会議の様子】

## 各ブロック会議の開催結果

# 05

### 関東ブロック会議の開催結果

日時：2023年1月25日(水) 場所：機構事務局会議室 (対面・WEB)

今回の関東ブロック会議には酒井代表理事が出席し、前回のブロック長会議で行われた本部の活動報告について詳細な説明が行われました。今回は特に「会員増強」の部分にフォーカスが当たり、会員を増やすための施策などアイデアが数多く挙がりディスカッションが進むなかで、「機構に入会するメリット」と「機構のプレゼンス」を向上し、入会する魅力を高めるための組織作りを関東ブロック始め機構全体で注力して取り組んでいくべきであるという意見がありました。



【関東ブロック会議の様子 ※WEB画面】

### 九州ブロック会議の開催結果

日時：2023年1月28日(土) 場所：TKP博多駅筑紫口ビジネスセンター (対面・WEB)

今回の九州ブロック会議では、機構本部から木内副代表理事がWEBで出席し、本部の活動内容の状況報告や意見交換が行われました。また、度々ニュース等で取り上げられていますが、機構としても大きく問題意識を持っている「ヤード問題」について、九州ブロック内でも問題提起があり活発な情報交換が行われました。

### 沖縄ブロック会議の開催結果

日時：2023年2月4日(土) 場所：N.B.Cブライダルセンター (対面会議)

久しぶりに対面での開催となった今回の会議では、機構本部から酒井代表理事が出席し、組織の活性化、会員増強活動などについて意見交換が行われました。また、自動車リサイクル士制度や、廃発炎筒の離島対応について、進捗状況の説明が行われ、引き続き沖縄ブロックが一丸となって取り組んでいくこととなりました。



【沖縄ブロック会議の様子】

### 近畿ブロック会議の開催結果

日時：2023年2月7日(火) 場所：エル大阪 (対面会議)

機構本部から酒井代表理事が出席され、対面での会議となった今回はメディアを含め計13名が集まりました。どの地域でも在庫台数の減少、価格競争の激化の一途が報告されるなかで、1台から生み出される利益を更に向上させるための取り組みなどの情報交換が行われました。また、新車販売台数が持ち直してきており、使用済自動車の在庫台数の少なさも今が底打ちと考えて、根気強く営業を続けていくべきであるといった意見が挙がりました。

# 2022年度駆動用HVバッテリー共同出荷事業 1月出荷状況と今期累計

# 06

上段 1月出荷数 下段：今期累計【単位：個】

参加会社数 (社)	プリウス 20	プリウス 30	プリウスα41	レクサス CT200H	アクア /ヴィッツ	カローラアクシオ /フィールダー	クラウン HV GWS204
23	15	46	0	0	27	0	1
90	212	503	16	5	424	6	29

クラウン HV AWS210	SAI/レクサス HS250H	日産デュトロ /ブルーリボン	ノア/ヴィクシー /エスファイア	シエンタ HV	プリウス 50	不良品 A~C	合計
0	0	1	0	0	0	0	90
26	25	29	9	6	4	99	1,393

2021年度の結果は以下のURLをご参照ください。

□2021年度の結果はこちら→ <https://elv.or.jp/index.php?itemid=1810>

## 1月新車販売・使用済自動車発生台数 ～1月の使用済自動車発生台数 前年同月比16%増～

# 07

### ■2023年1月度 新車販売台数 382,338台 (前年同月比116.0%)



過去の自動車販売台数推移

年累計	台数	前年比(%)
2023年	382,338	116.0
2022年	4,201,320	94.4
2021年	4,448,340	96.7
2020年	4,598,615	88.5
2019年	5,195,216	98.5

※出所：一般社団法人 日本自動車販売協会連合会

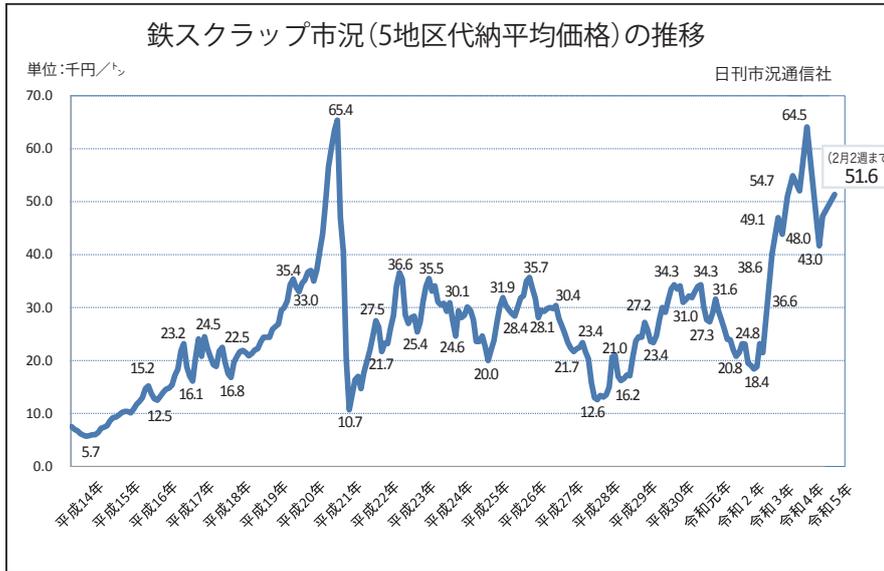
### ■2023年1月度 使用済自動車引取(電子マニフェスト)実施状況



引取件数
185,259件 (前年同月比 91.6%)
フロン回収工程
165,094件 (前年同月比 91.1%)
解体工程
191,468件 (前年同月比 90.6%)

※出所：公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

## 2月第3週(17日)の鉄スクラップ動向



## 2月17日の国内スクラップ炉前実勢価格(中心値)

		H2	気配
関東	北関東	53,000～54,000	堅調様子見
	南関東	53,000～54,000	堅調様子見
	浜値	53,000～53,500	様子見
名古屋		52,000～53,500	保合い
関西	大阪	53,500～54,000	強含み保合い
	姫路	53,000～53,500	保合い

## 国内市場は堅調様子見、海外は上げ一服

国内市場の鉄スクラップ市況は、2月10～11日にかけて需要家筋の値上げ改定が広がってから目立った値動きは見られず、堅調さを残して様子見横ばい推移を続けている。国内需要量に対し、市中スクラップの発生・荷動きが薄く、供給量に勢いが無いため。ただ、減産が目立つ地域などでは需給に引き締め感が見られないほか、関東市場ではH2浜値の高値解消が進むなど、需給・相場動向に地域差がある。

一方、海外市場の鉄スクラップ市況は、11月頃から続いた上げ相場が一服している。トルコでは、新規輸入価格が値下がりした。これを受けて、アジア市場では新規成約が停滞している。台湾向けの日米産鉄スクラップ交渉の気配値は週後半に値下がりした。鉄鉱石、原料炭の中国向けスポット市場は底堅い展開を続けているものの、先高観が薄れていることなどから、輸入国側は商談から一歩後退し、トルコ・シリア地震の今後の影響や為替相場の動向などを含め、鉄スクラップ相場の動向の様子見しているのが現状だ。

海外・輸出市場の停滞で、国内市場に様子見機運が台頭し始めている。市中発生薄で需給が急速に緩和する状況にないが、市中に根強かった先高観は後退している。今後の荷動きに影響が出る可能性がある。

## 【関東地区】 需要家筋の入荷バラつき堅調様子見

関東市場の鉄スクラップ市況は、2月10～11日からの値上げ改定が概ね一巡した後も堅調さを残した相場展開となっている。2月の域内電炉生産量が1月から増加する予定の一方で、市中スクラップの発生・荷動きは薄く、需給に引き締め感が残っているため。H2炉前実勢価格は53,000～54,000円中心。H2浜値は53,000～53,500円中心。高値が解消したため、浜値に対して電炉購入価格がやや割高な水準となっている。

## 【東海地区】 11日の上伸以降は保合い商状、供給量は回復せず

名古屋地区の鉄スクラップ市況は、保合い商状にある。2月10日に行われた東京製鉄田原工場の値上げに対し、地区メーカー各社は翌11日までに追随上げを実施し、地区内の市況は2,500円がた上伸したが、その後は動きが見られない。発生が落ち込む2月にあつてか、供給量については市中から「もう一段悪化した気もする」(問屋筋)とする指摘もあるように、回復していない。H2炉前実勢価格は52,000～53,500円中心で横ばい推移中。

## 【関西地区】 強含み保合い、押し上げ力は弱まる傾向に

大阪地区の鉄スクラップ市況は、強含みの保合い商状だ。全体の入荷を満たすほどの荷動きには至っておらず、在庫面も踏まえ、メーカーは引き合いを緩めづらい状況にある。しかし輸出商談の停滞や関東湾岸の上昇一服気配に加え、電炉筋によっては徐々に入荷底上げも聞かれることで、市況の押し上げ力は弱まりつつある。大阪地区のH2炉前実勢価格は53,500～54,000円中心。姫路地区は53,000～53,500円中心となっている。

(※価格、数量等は日刊市況通信社調べ、2月17日午後時点のもの)

# 行事予定

## — 3月の主な行事予定 —

- 3月2日 (木)
  - ・中国・四国ブロック会議 (対面)
- 3月6日 (月)
  - ・東北ブロック会議 (対面)
- 3月7日 (火)
  - ・第12回広報部会 (WEB)
- 3月17日 (金) ~ 3月31日 (金)
  - ・日本自動車リサイクル機構 第11回景況調査
- 3月22日 (水)
  - ・第8回常任役員会 (WEB)
- 3月31日 (金)
  - ・次世代モビリティリサイクラー制度 第2回目認定申請期限

※ 急遽、日程変更・延期の場合がございます。

March

## お知らせ

### ～自動車再資源化協力機構より～ エアバッグ類集荷・持込再開時期について

先般、自動車再資源化協力機構(自再協)ホームページ等でお知らせしましたとおり、

**2023年3月中旬～4月上旬**

の間はエアバッグ類の集荷および指定引取場所への持込みを停止いたします。

【自再協HP】 <https://jarp.org/>

なお、集荷・持込対応は4月10日(月)より順次再開いたしますので、運搬ネットワーク業者または指定引取場所からの連絡をお待ちください。

皆さまには大変ご不便をおかけしますが、引き続き、円滑な運搬・引取体制の強化にご協力いただきますようお願いいたします。

## 編集後記

先月、高校時代の恩師が亡くなったのを新聞のお悔み欄で知りました。

この先生は現代国語の先生で担任の先生ではありませんでしたが、高校2、3年生の2年間国語を教わりました。先生の授業を受けるようになって、それまでほとんどと言って良いほど読書などしたことがなかった私ですが、いつの間にか寝ている時と学校に行っている時以外の時間をほぼ読書に使うようになりました。

先生は太宰治が好きで、「読みやすいものから読んでみなさい」と言われて“走れメロス”、“ヴィヨンの妻”、“人間失格”と夢中で読んだものです。そのうち太宰治の文章と人となりも好きになり興味が沸いてきました。

今考えると、どうしてあんなにも読書に夢中になれて、読むことに集中出来たのかが不思議です。高校生という時代でしたので、自由に使える時間は有り余ってる一方で、無かったのはお金です。少ない小遣いであれもこれもと本を買うことは出来ず、毎週土曜日の午後は本屋さんに行ってひたすら文庫本を買い漁っていたのを覚えています。本当に楽しかった思い出です。

実はこの業界で商売を始めたばかりの頃もお金は無かったのですが、仕事が楽しくて夢中で朝から晩まで頑張れました。それは自分の「やりたいこと」をやれていたからです。年を重ねましたが、これからも好きなことを楽しく頑張れるよう、この自動車リサイクル業を続けることが先生への供養だと思い精進していきたいと思います。

(広報部会長 田村 幸男)